

特集

漢字と遊ぶ！ 漢字で遊ぶ！

漢字が好きになる学習のヒント

「漢字はひたすら書いて覚えるもの」「暗記するもの」
 — そう思うと漢字学習はつまらないものになってしまいます。
 せっかくですから、遊びながら楽しく漢字を身に付けましょう！
 今回は、漢字が好きな子も苦手な子も、きつと楽しめる漢字学習法を紹介します。

撮影／小山泰雅 イラスト／林ユミ

漢字を
楽しみながら
学ぶ方法はこれ！



1 形を楽しむ 漢字 かくれんぼ



2 音を楽しむ 漢字の 暗号



3 意味を楽しむ 発明漢字

協会主催の「親子でわくわく漢字教室」の様子

漢字を形で楽しもう！
漢字かくれんぼ

よく見ると、
ひとつだけ違う漢字が！
形の似た漢字を見分けるクイズ

「王」と「玉」のように、漢字には少しの形の違いで全く別の意味になってしまふものがあります。この形の違いを利用したものが「漢字かくれんぼ」です。方法はとても簡単！ 下の例題のように（１）似ている２つの漢字を決めて、（２）漢字に関連する絵を描き、（３）その絵の中に漢字をたくさん書きましよう。このとき、（４）もうひとつの似ている漢字を一字だけその中に紛れ込ませます。これで、たくさん漢字から、ひとつだけ違う漢字を探し出すという漢字クイズが完成します。

クイズとしての完成度を高めるためには、字形を意識しながら丁寧に、数多くの漢字を書く必要があります。また、「刀」と「刃」など間違えやすい漢字を選ぶのも重要なポイントです。このクイズを実践すると、子どもたちは気付かないうちに、楽しみながら書き取り練習をすることが出来ます。

例題

山には仙人が住んでいるといわれます。「山」の中から「仙」を探してみよう！



卯月先生の授業で、実際に子どもたちが作った「漢字かくれんぼ」。右は「材」という漢字の中にひとつだけ「林」が隠れている問題。左は「島」の中に「鳥」が隠れています。

こつやつて
親子で楽しんでみて！



親子でそれぞれ問題を作ってみましょう
家で楽しむには、親子で出題し合うのが一番。このとき大人は、子どもたちがよく間違える漢字を使ってクイズを作り、出題してあげると、学習効果が上がります。

タイムを競えば、効果はさらにアップ！
クイズは、親子でタイムを競ってみましょう。子どもは勝ちたい気持ち一心で内容を工夫していきますので、回を重ねるごとに自然と漢字力が高まります。

Column 01

形を楽しむこんな方法も

「デザイン漢字」も面白い！

漢字をアートで表現しよう

字形を楽しむ方法として、漢字のイメージを大切に作る作品を作ってみるのも面白いでしょう。小学校低学年の子どもなら粘土を使って、高学年の子どもなら毛糸やモールなどを使って、工作の要領で自由に漢字をデザインしてみてください。自分で手を動かすことによって、漢字の書き順やとめ・はねなどにも注意を払うようになります。



漢字は暗記するものではない
生活漢字に目を向けよう

今回の特集では、家庭で親子一緒に遊びながら楽しく漢字を学べる「楽漢学習法」を紹介します。

楽漢学習法を提唱する卯月啓子先生によると、「漢字をどれだけ習うか、覚えるかよりも、どれだけ使うかがポイント」なのだそう。卯月先生は漢字学習について次のように説明します。

「小学校で習う学習漢字は1006字あります。それに対して、日常生活の中で使われている生活漢字は3万字以上あります。つまり、私たちは普段、学校で習うよりもはるかに多くの漢字を見て、覚えて、使っていることになるのです。ですから、できるだけたくさん生活漢字に触れさせることがとても大切です。

漢字は決して暗記するものではありません。読んだり書いたりして使っていくうちに、自然と身に付いていくのですから、楽しく遊びながらたくさん漢字に出合っていくことこそ、効果的な学習法だと思います。それには家庭が重要な役割を果たすと、私は思っています」

上記では、卯月先生が提唱する楽漢学習法のうち、漢字の特長である「形・音・意味」から漢字を楽しむ方法を紹介します。それぞれの遊びの中に、漢字をよく見る、漢字の意味を考える、漢字の成り立ちを調べる、漢字を書くなどのプロセスが組み込まれていますから、楽しく漢字を身に付けることができます。

子どもの学年や力に合わせた 学習法も工夫しましょう

楽漢学習法では、子どもの学年や漢字力に合わせて遊び方を工夫することができます。



監修
「卯月啓子の楽しい
国語の会」代表
卯月 啓子先生

(うづき・けいこ)
1949年東京都生まれ。元公立小学校教員。現在は、各地の現職教員のための国語教育研究会の常任講師を務め、後進を指導。子どもが楽しみながら意欲的に漢字や言葉、詩などを学習し、一人一人の言葉の力を効果的に伸ばしていく指導法を提唱している。主な著書に『子ども漢字百景』（東洋館出版社）、『子どもの漢字力はお母さんが伸ばす』（小学館）などがある。

漢字の暗号

漢字の音読みを利用して
暗号文を作ってみよう！

漢字には、音読みと訓読みの2種類の読み方があります。こうした日本ならではの漢字の特性を利用して楽しむのが、「漢字の暗号」です。

「漢字の暗号」は、さまざまな言葉や文章を、ひらがなやカタカナを使わず、漢字だけで書き表すというシンプルな学習法です。例えば、「和多紙多知野倉素出歯、戸乱夫画早津手井間巢」という具合です。卯月先生は「読み方のルールに縛られずに、自由に漢字を使ってよいことにすると、子どもたちはがぜん漢字に興味を示します」と、その効果を説明します。自ら漢字辞典を引き、一生懸命に暗号を作る子もいるそうです。

ただし、「漢字の暗号」は知っている漢字の数が多い方が楽しめますから、小学校中学年以降の子どもに向いた学習法だといえます。大人でもやりごたえがありますから、親子で暗号文を出し合ってみてください。

発明漢字

漢字を意味で楽しもう！

パーツを組み合わせて
新しい漢字を発明してみよう！

ひらがなやカタカナ、アルファベットとは違い、文字自体が意味を持つ表意文字であることも漢字の特性。そして、この特性を利用して新しく漢字を作ってしまうというのが「発明漢字」です。下の作品は、卯月先生の小学生の教え子が発明した漢字「ブルートレイン」です。この例のように、「発明漢字」では、子どもたちの発想力が遺憾なく発揮されます。

今使っている漢字も、さまざまな意味を表すパーツが組み合わさってできています。その成り立ちを考えると、「発明漢字」も立派な漢字学習法といえます。自分で漢字を発明すると、子どもたちは何を表そうか？ から始まり、どういう漢字のパーツを組み合わせようか？ 部首はどういう意味を表す形にしようか？ 偏は？ 旁は？ と考えます。この創作活動は、漢字の成り立ちや意味を理解することにつながっていきます。

協会主催の「親子でわくわく漢字教室」で、卯月先生の授業に参加した親子を直撃。お子さんは「語目九時半八位夜（ごもくごはんはいや）」、おうちの方は「阿井酢蛾田部多伊奈垂（アيسが食べたいなあ）」と、「漢字の暗号」を使って表現。



「漢字の暗号」は
こんなときに使える！



書き置きを「漢字の暗号」に

自宅でも子どもにメモを残す際に「漢字の暗号」を使ってメッセージを残してみましょう。例えば、おやつのあるかを暗号にしておくと、子どもは必死で文章を解読するはずですよ。



言いにくいことを暗号化しても

親子で「漢字の暗号」で書かれた手紙を交換し合うのも◎。子どもを褒めたいときにも、注意したいときにも使えます。普段は言いにくいことも伝えられるかもしれません。

「真都首流字無」と書いてマッシュルーム。キャベツは「緑大菜」とイメージから暗号化しています。



「牛乳」や「御飯」など、既に習った漢字は本来の漢字で書いてもOKです。



Column 02

音を楽しむこんな方法も

「今日の献立」は大人も楽しめる!?

見た目もおいしそうな漢字献立表

何を暗号にすればいいのかよく分からないという場合は、今日の献立を漢字で書いてみましょう。卯月先生は小学校の教員だったころ、給食の献立を漢字で書いたところ、子

もたちはとても喜んだそうです。できるだけ「おいしそうな雰囲気漢字」を使って書くなど、親子で漢字選びにもこだわってみてください。

ひとつのやり方にとらわれず、自分子どもが楽しめる学習方法を探してみてください。

見逃さないこと、
見離さないこと、
見守ることが大切

最後に、家庭で漢字を学習する際に親が気を付けたことについて、卯月先生に伺いました。

「お父さん、お母さんに心がけてほしいことは『見逃さない、見離さない、見守る』という姿勢です。これは漢字学習に限ったことではありません。お子さんは何を苦手とし、どこを間違えたのかを見逃さず、決してよくできていなくても見離さないであげてください。お子さんに合う学習方法を一緒に探すこと、勉強に取り組む姿を適度な距離で見守っていくことが大切です。

今回紹介した楽漢学習法は、大人も十分に楽しむことができ、親子のコミュニケーションもとれる学習法です。子どもたちにとっては、お父さん・お母さんと一緒に取り組めることがうれしいことですから、ぜひご家庭で試してみてください」

漢字を調べていくと多くの発見があります。また、漢字は私たちの生活に必要な不可欠なものでもあります。漢字の力を身に付けることは、一生役立つ知識を身に付けることでもありますから、それを学ぶことで子どもたちの世界はきっと広がっていくことでしょう。大人は、豊かな学びのサポーターとして子どもたちを温かく見守っていききたいものです。

Column 03

意味を楽しむこんな方法も

「漢字の絵」も「今日の漢字」も子どもたちは大好き!

漢字がパーツの組み合わせによってできていることが分かる「漢字の絵」



「朝」という漢字を絵にした例です。低学年の場合は、このように絵で表すといいでしょう。

「発明漢字」は、ややハイレベルな漢字の楽しみ方のため、お子さんが小学校低学年の場合は、漢字を絵で表してみることをおすすめします。これは、漢字をパーツに分解し、そのパーツを絵にしてみるという方法です。左の作品では、太陽が月に向かって「交代の時間だよ」と言っています。

想いを込められる「今日の漢字」

一年の世相を表す「今年の漢字」に倣って、「私の今日の漢字」を毎日選んでみるのも楽しいでしょう。今日一日を漢字一字で振り返り、日記に残していく方法です。



「今はお昼を食べたばかりでお腹がいっぱいだから…」と、今の気持ちを「腹」の一文字で表現。協会主催の「親子でわくわく漢字教室」にて。



この年にこの名前が一番付けられた！
年代別・男女別の名前調査

西暦	男性	女性
1951年(S26)	茂	和子
1952年(S27)	茂	和子
1953年(S28)	茂	恵子
1954年(S29)	茂	恵子
1955年(S30)	隆	洋子
1956年(S31)	隆	恵子
1957年(S32)	誠	恵子
1958年(S33)	誠	恵子
1959年(S34)	誠	恵子
1960年(S35)	浩	恵子
1961年(S36)	浩	恵子
1962年(S37)	誠	久美子
1963年(S38)	誠	由美子
1964年(S39)	誠	由美子
1965年(S40)	誠	明美
1966年(S41)	誠	由美子
1967年(S42)	誠	由美子
1968年(S43)	健一	直美
1969年(S44)	誠	直美
1970年(S45)	健一	直美
1971年(S46)	誠	陽子
1972年(S47)	誠	陽子
1973年(S48)	誠	陽子
1974年(S49)	誠	陽子
1975年(S50)	誠	久美子
1976年(S51)	誠	智子
1977年(S52)	誠	智子
1978年(S53)	誠	陽子
1979年(S54)	大輔	智子
1980年(S55)	大輔	絵美
1981年(S56)	大輔	恵
1982年(S57)	大輔	裕子
1983年(S58)	大輔	愛
1984年(S59)	大輔	愛
1985年(S60)	大輔	愛
1986年(S61)	大輔	愛
1987年(S62)	達也	愛
1988年(S63)	翔太	愛

西暦	男性	女性
1989年(H1)	翔太	愛
1990年(H2)	翔太	愛・彩
1991年(H3)	翔太	美咲
1992年(H4)	拓也	美咲
1993年(H5)	翔太	美咲
1994年(H6)	健太	美咲
1995年(H7)	拓也	美咲
1996年(H8)	翔太	美咲
1997年(H9)	翔太	明日香
1998年(H10)	大輝	萌
1999年(H11)	大輝	未来
2000年(H12)	翔	さくら・優花
2001年(H13)	大輝	さくら
2002年(H14)	駿	美咲・葵
2003年(H15)	大輝	陽菜
2004年(H16)	蓮	さくら・美咲
2005年(H17)	翔・大翔	陽菜
2006年(H18)	陸	陽菜
2007年(H19)	大翔	葵
2008年(H20)	大翔	陽菜
2009年(H21)	大翔	陽菜
2010年(H22)	大翔	さくら

1957年以降、男の子の名前には「誠」がよく付けられました。牧野先生は「この名前については、その時代の『空気』もあると思いますが、『愛と誠』というアニメの影響も色濃くなっています」と解説します。この後の「大輔」の人気は、高校野球で荒木大輔選手が活躍した背景があるそう。女の子は「子」が付く名前が人気でしたが、1965年以降「子」離れが進み、バブル期前後には完全に「子」離れます。

出典：明治安田生命
「生まれ年別の子どもの名前調査」

このように、名前には流行があり、名前に使われる漢字を調べていくと、その時代の『空気』のようなのが見えてきます。例えば「優」は、現在は男女に使われている字ですが、牧野先生によると、ひと昔前は「まさる」と読ませて男の子に付けるのが一般的だったそうです。それが1982年の早見優さんのデビュー以降、「ゆう」と読ませる女の子の名前の方が一般的になったといえます。

牧野先生は「その時代に求めて得られなかったものを象徴する漢字が、名前に使われる傾向もある」と

漢字と言葉の
おもしろい
研究所

今号から、毎回、漢字や言葉の面白さをさまざまな側面から紹介していきます。
意外な事実が見えるかも!?

第1回

今回の研究

流行の名前の漢字から
分かること



命名研究家
牧野 恭仁雄先生

(まきの・くにお)

1943年東京都生まれ。台湾大学の徐世大教授に師事し、中国の古典「易経」を学ぶ。以後、漢字の成り立ちや名前の研究を続け、名付けに関する執筆、講演、相談に携わる。名付け相談の第一人者として知られ、これまでの名付け相談は10万件を超える。著書に「よくわかる名づけ」(主婦の友社)などがある。

名前の傾向は時代で変わる！

2005年、1年の世相を表す「今年の漢字」の第1位は「愛」でした。これは紀宮様のご成婚や「愛・地球博」の開催、福原愛さん、宮里藍さんなど、各界で「あいちゃん」が活躍したのが主な理由です。その影響を受けてか、翌年の子どもたちの名前調査では、女の子の名前の第5位に「愛」ちゃんがランクインしています。

分析します。日本がまだ貧しかった1950年代、男の子の名前には「茂」の他に「豊・稔」といった実り・収穫を表す漢字がよく使われました。また、バブル期には、女の子の名前に「愛」の字が多く使われるようになりました。「核家族化が進み、古くからの家族の絆が弱まったことと無関係ではないでしょう」と牧野先生は指摘しています。

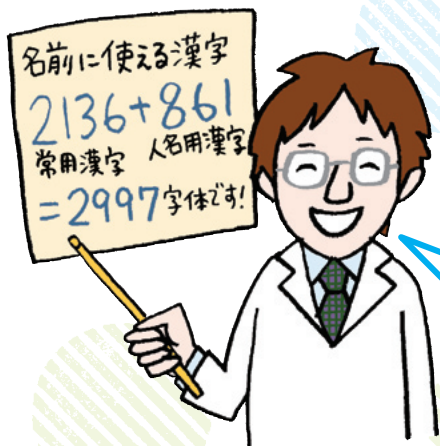
これを踏まえて最近人気のある名前の漢字「大・翔・陸・陽・菜・美」を考えると、スケールの大きさや自然との関わりが期待される時代になってきたと解釈できそうです。

漢字と言葉のママ×知識

名前に使える漢字とその読み方は……

子どもの名前に使える漢字(字体調べ)は、常用漢字2136字体と人名用漢字861字体で、計2997字体です*。戸籍法は、決められた読み方以外でも採用されるケースが多いようです。

*2010年11月改定の常用漢字表に基づく



イラスト/野田節美



(写真右) 漢検への取り組みが継続できるのも、保護者の協力のおかげです。

(写真左) 申し込みには長い行列ができます。



愛知県 大口町立大口中学校



国語ラウンジには漢検の資料がたくさん！

PTAと連携し、検定の機会を数多く設けています

PTAの積極的な協力

本校での漢検への取り組みは10年以上になります。漢検をはじめ各種検定の校内実施を長く続けてこられたのは、保護者の理解や協力のたまものです。生徒のために、漢検・英検・数検などの受検機会をそれぞれ年数回設けようとすると、検定実施回数は年間12回以上となります。この準備や実施のすべてを教員だけで行うことはなかなかできませんので、PTAに協力をいただく形をとっています。保護者からも積極的な支援が得られ、各検定の申込受付業務はすべてPTAが対応しています。

漢検に関する工夫

校内での申込受付期間はあえて3

合格した生徒たちの変化

漢検に合格した生徒たちはまず、人に言える資格を取得したという自信を持つようになっています。それは、自分もやればできるという自信につながります。日々の学習においては、同音異義語の間違いが減り、学習効率が向上します。また、次も漢検に合格したいという気持ちを持つことにより、他の教科学習に出てくる漢字に対しての興味関心も高まります。生徒たちのこうした変化を感じられるからこそ、保護者の継続的な協力を得られるのだと思います。

現在、生徒だけではなく保護者や兄弟姉妹、祖父母など家族の受検を受け入れることも検討しています。今後も、漢検を通して学校と家庭の結び付きを強め、地域に開かれた学校づくりを進めていきたいと考えています。

漢字 VOICE

漢検が子ども、家庭、地域、学校の交流のきっかけに



学校や企業などの団体が志願者を集め、まとめて申し込みを行う団体受検。子どもたちの学習意欲の向上や自信につながると、保護者や地域と協力し、積極的に漢検を活用している学校も増えています。今回は、団体受検を実施している小学校・中学校に、導入のきっかけや工夫について伺います。

取材協力いただいた方々

東京都 足立区立伊興小学校 校長/関根正弘 先生 副校長/大塚信明 先生 開かれた学校づくり協議会会長/似鳥進 さん 同相談役/山下徐功 さん PTA会長/黒川浩 さん 保護者/栗原知子 さん
愛知県 大口町立大口中学校 校長/田中将弘 先生 国語科/千葉三栄子 先生
京都府 京都市立京都御池中学校 漢検部会長/市川博敏 さん 理科/井上典子 先生 国語科/西村府子 先生

学校・家庭・地域が三位一体となり、子どもの育成に取り組んでいます

東京都 足立区立伊興小学校



一生懸命、検定に臨んでいます。

漢検導入の目的

子どもたちの学力向上を図るため

土曜事業の二環としての漢検

本校の「開かれた学校づくり協議会」(以下、協議会)では「よく学び！よく遊ぶ！」のスローガンのもと、子どもたちと保護者、地域の方が交流しながら楽しめる、さまざまな土曜事業を実施しています。その一環として、漢検を年2回、学校を会場として実施し、保護者や兄弟姉妹、地域の受検希望者も受け入れてい

子どもたちのために頑張る協議会・PTA・地域の皆さん。



模擬店を用意して子どもたちを待ちます。

学校・協議会・PTAの連携

漢検実施の主体は協議会とPTAです。年度初めに検定日を決定し、年間行事予定に組み込んで各家庭にお知らせします。受検希望者を募る際には、児童を通じて全家庭に「受検案内」などを配布します。

には、自ら目標に向かって学習する意欲・態度を育てることが大切です。漢検は目標設定がしやすく合格という達成感を得られること、家庭学習の習慣が身に付くことなどから、子どもたちの学習目標として最適だと考えました。また、漢字が読める、書ける、意味が分かるということは、国語だけでなくすべての教科に共通する基礎的な力です。その観点でも、漢字の習得は子どもたちにとって必要不可欠であり、漢検という目標はその大きな助けとなります。協議会会長、PTA会長もこの考えに賛同し、土曜事業での漢検実施が決まりました。

そして、検定当日は、試験監督や答案用紙の保管などを学校が行い、PTAは会場設営や受付などを担当して受検者が迷わず席につけるよう誘導しています。毎回100名近くが受検し、会場が複数の教室に分かれますので、開始や終了の合図は校内放送を使用して全教室一斉に行うといった工夫もしています。検定終了後は、学校の敷地内に模擬店を出すなどのイベントも行っており、子どもたちにとって検定日は楽しみのひとつにもなっているようです。今後も、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの育成に取り組んでいきたいと思っています。

学びの共同体を創造する学校を目指して地域と協力しています

京都府 京都市立京都御池中学校



勉強の成果が出せるかな？

「けやきプロジェクト」とは

本校の学区域では、マンションが続きと建設され、人口は増加の一途です。そのような背景があり、住民の半数は他の地域からの転入であり、地域住民同士の連帯感はどうしても薄くなっています。

本校の学校運営協議会「けやきプロジェクト」は、学びの共同体を創造する学校を目指し、地域住民が主体となって学校経営に参画するシステムです。ここでは、子どもたちに地域への理解を深めてもらう活動や、地域住民の学びを支援する活動などを行っています。具体的には、京都検定一級を取得した地域住民が生徒たちに講演を行ったり、逆に生徒たちが地域住民にコンピュータ教室を開いたりもしています。当プロジェクトでは10の部会を設け、そ

地域と協力した運営

地域の方や保護者、教員で構成される漢検部会では、申し込みの受付や名簿作成、会場準備、当日の出欠確認から監督まで、スムーズな運営が行われています。これからの漢検をはじめとして、より多くの人に学びの機会を提供したいと思っています。

小学生や地域住民も漢検に挑戦

漢検部会は一貫校の小学校の先生と連携して、児童・保護者に受検を呼びかけています。児童にとっては、中学校での漢検受検は中学校を知るよい機会にもなっているようです。地域住民に対しては、「京都御池中学校だより」や漢検の「受検案内」などを積極的に回覧しています。その結果、三世代や親子で挑戦されたり、毎回受検される方も多く、受検者数は毎回増えています。

「けやきプロジェクト」メンバーが中心となって運営しています。



廊下の掲示。熟語を一日ひとつ覚えよう！



廊下の掲示。熟語を一日ひとつ覚えよう！

中級

初級よりも少しレベルアップ!
2問目と3問目は、漢字を計算して二字熟語を教えてください。

1 □ ⊕ 十 ⊕ 竹 ⊕ □ = □

2 紹 ⊕ 淡 ⊕ 農 ⊕ 甘 ⊖ 炎 ⊖ 召 = □ □

3 更 ⊕ 斤 ⊕ 砂 ⊕ 賜 ⊕ 斤 ⊖ 少 ⊖ 易 = □ □



ヒント!
2文字目の漢字は、「貝」
の上に何が乗ります。

上級

さらにレベルアップした上級に挑戦!
3問目は、漢字を計算して三字熟語を教えてください。

1 廉 ⊕ 予 ⊕ 稼 ⊕ 失 ⊖ 家 ⊖ 兼 = □ □ □

2 載 ⊕ 株 ⊕ 賠 ⊕ 堤 ⊖ 貝 ⊖ 是 ⊖ 朱 ⊖ 車 = □ □ □

3 肯 ⊕ 棋 ⊕ 度 ⊕ 迭 ⊕ 鍋 ⊕ 漠 ⊖ 鉄 ⊖ 模 ⊖ 止 = □ □ □



ヒント!
3文字目の漢字には、
「月」が含まれます。

頭の体操! 漢字パズル&クイズ

家族みんなで楽しい漢字パズル&クイズに取り組んでみましょう。
今回、挑戦していただくのはこちらです。

例題

行 ⊕ 土 ⊕ 土 = 街

漢字計算式

出題: スカイネットコーポレーション イラスト: あきんこ

解答は ▶ 23ページに掲載

バラバラになった漢字を組み合わせると、漢字や熟語ができます。引き算の場合は、その漢字を他の漢字から探して引いていきます。初めて出合った漢字や熟語は意味を調べてみましょう。

初級

バラバラになった漢字を計算して、漢字一文字を教えてください。

1 里 ⊕ 日 ⊕ 一 = □

2 心 ⊕ 公 ⊕ 糸 = □

3 □ ⊕ 王 ⊕ 耳 = □

4 立 ⊕ 舌 ⊕ 十 = □

5 城 ⊕ 皿 ⊖ 土 = □

おもしろい!



ヒント!
引き算をする漢字がどこにあるか見つけられましたか?
答えは小学校6年生で習う漢字です。

漢検トピックス

財団法人 日本漢字能力検定協会の活動について紹介します。



過去最高の応募総数49万6997票！
2011年「今年の漢字」第1位は「絆」

絆 ハン・バン／きずな・ほだす

部首 糸

意味 (1)きずな。物をつなぎとめるもの。ほだす。
(2)つなぎとめる。ほだす。
出典：『漢検 漢字辞典』

「絆」に寄せられたコメント

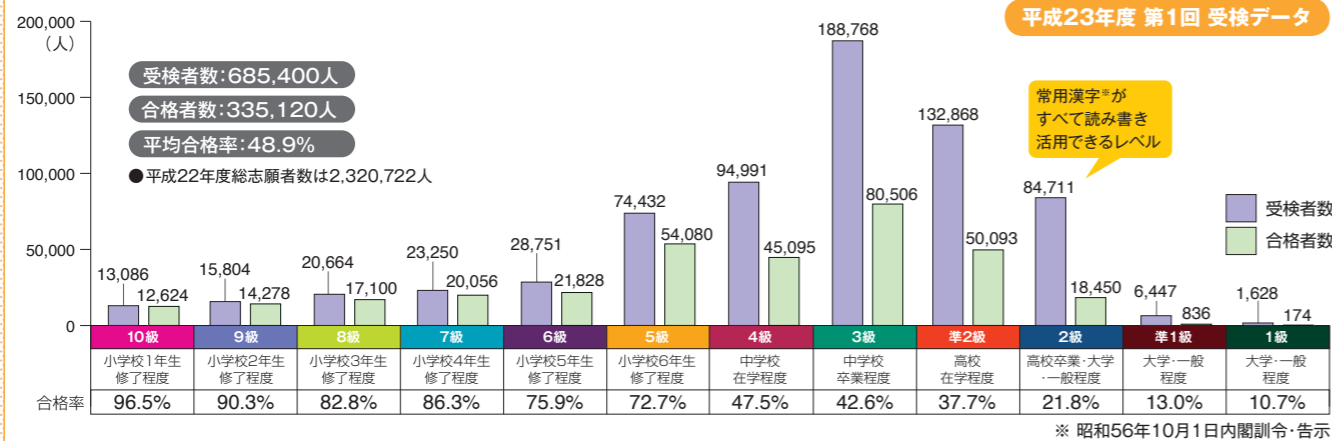
- 今年震災で多くの方が亡くなり全てを失ったりと生きる希望さえも見失いそうになりましたが、日本中、世界中の「絆」があったからこそ支えられて頑張ってきたのだと思います。
- 東北の地震と津波による大震災で日本中が絆の大切さを実感したと思います。また、「なでしこジャパン」が、世界一の快挙を達成してくれて、日本中を笑顔にしてくれました。日頃、過酷な環境の中で頑張ってきた彼女たちの絆の深さを感じる出来事でした。

2011年「今年の漢字」トップ5
(応募総数 496,997 票)

1位	「絆」	61,453 票
2位	「災」	28,648 票
3位	「震」	26,972 票
4位	「波」	17,832 票
5位	「助」	14,011 票

歴代の「今年の漢字」一覧

1995	震	1996	食	1997	倒	1998	毒	1999	末	2000	金	2001	戦	2002	帰	2003	虎	2004	災	2005	愛	2006	命	2007	偽	2008	変	2009	新	2010	暑	2011	絆
------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---



「漢字の力」シンポジウム開催
(北海道・東京)

当協会では、全国で「漢字の力」シンポジウムを開催しています。11月3日(祝)に札幌市で、11月13日(日)に東京都でそれぞれ開催。札幌では杏林大学教授の金田一秀穂氏を、東京では作家の浅田次郎氏を迎えて基調講演やパネルディスカッションを行い、コミュニケーション、思考力など社会生活に必要な力を支える「漢字の力」について考えました。

「漢字のある風景」フォトコンテスト結果発表

2011年の夏に募集した「漢字のある風景」フォトコンテストでは1,760作品の応募がありました。「小・中学生部門」では、身のまわりの物や身体で漢字を表現したユニークな作品、「一般部門(高校生以上)」では、季節感あふれる作品や海外で撮影した作品が多く見られました。各部門の入賞作品は漢検ホームページでご覧いただけます。

BJTビジネス日本語能力テストのご案内

当協会では、漢検のほかBJTビジネス日本語能力テスト(以下、BJT)を運営しています。BJTはビジネス場面における日本語コミュニケーション能力を総合的に測定するテストです。主に外国人ビジネスパーソンや留学生がキャリアアップ・就職を目的に受験しており、グローバル化が進む日本企業でも採用・人事評価の基準として活用されています。

来年度の日本国内試験日
2012年6月24日(日)
11月18日(日)

「育つ」ベンネーム 江島 みえさん(福岡県)

「育」の文字が彫られた奥に見える子どもたちです。丈夫に育ってきてくれてありがとうのメッセージが写真で表現できました。

頭の体操！漢字パズル&クイズ

問題は20、21ページに掲載

- 初級**
- 里 ⊕ 日 ⊕ 一 = 量
 - 心 ⊕ 公 ⊕ 糸 = 総
 - 口 ⊕ 王 ⊕ 耳 = 聖
 - 立 ⊕ 舌 ⊕ 十 = 辞
 - 城 ⊕ 皿 ⊕ 土 = 盛

- 中級**
- 口 ⊕ 十 ⊕ 竹 ⊕ 口 = 箇
 - 紹 ⊕ 淡 ⊕ 農 ⊕ 甘 ⊕ 炎 ⊕ 召 = 濃 紺
 - 更 ⊕ 斤 ⊕ 砂 ⊕ 賜 ⊕ 斤 ⊕ 少 ⊕ 易 = 硬 質
- 上級**
- 廉 ⊕ 予 ⊕ 稼 ⊕ 失 ⊕ 家 ⊕ 兼 = 秩 序
 - 載 ⊕ 株 ⊕ 賠 ⊕ 堤 ⊕ 貝 ⊕ 是 ⊕ 朱 ⊕ 車 = 栽 培
 - 肯 ⊕ 棋 ⊕ 度 ⊕ 送 ⊕ 鍋 ⊕ 漠 ⊕ 鉄 ⊕ 模 ⊕ 止 = 過 渡 期

『漢検ジャーナル』への感想募集中!

『漢検ジャーナル』をご覧いただき、誠にありがとうございます。当協会では『漢検ジャーナル』へのご意見・ご感想を受け付けています。今後の制作に役立ててまいりますので、漢検ホームページの『漢検ジャーナル』感想受付フォームより、みなさまのお声をお寄せください。

今年の漢字、フォトコンテスト、シンポジウム、BJTの詳細は、漢検ホームページ(<http://www.kanken.or.jp/>)をご覧ください。